

### 中学校給食の課題

#### 安全安心な実施に向け

#### 配膳方法などを検証

**問** 中学校給食は平成27年9月から3校で試行実施される。給食検討委員会からの報告を踏まえ、教育委員会として給食費の徴収や配膳方法についてどのような対応するのか。

**答** 給食費の徴収方法については、教職員の負担軽減の観点から教育委員会事務局が主体となって徴収事務を行うこととした。

配膳方法については、給食用リフトは整備せず1階の配膳室まで生徒が取りに行くことを基本とするが、各中学校の状況に応じ乗用エ

レベーターを利用して給食運搬用ワゴンを事前に最上階まで上げておくことや、配膳員が事前に給食用コンテナを別棟1階まで移動させておくなどの混雑緩和策も個別に検証し、できる限り弾力的に運用していく考えだ。

今後、教育委員会としては、業務のマニュアル素案を基に、安全安心な給食実施を目指し、より具体的な内容を決定していく。

### ネットの危険性

#### トラブルから

#### 子どもたちを守れ

**問** インターネットを利用する子どもが増える中、情報教育とともにその危険性を教える必要がある。学校等の取り組み状況を聞く。

**答** 小中学校では総合的な学習の時間に情報を適切に収集、整理、活用させる授業を行い、情報が日常生活や社会に与える影響を考えさせ、道徳の時間には情報モラルの向上に努めている。さらに、中学校では情報を安全に利用するための基本的な仕組み等も学習している。また、保護者と連携し、ネット上のトラブルや犯罪に巻き込まれないよう生徒指導担当者などで対応力向上の研修会を実施してきた。加えて平成21年

度からはPTA、保護者、児童生徒対象の研修会を実施している。今後も急激に変化するネット環境の現状把握と問題意識向上に努め、トラブルや犯罪から子どもたちを守る機運を高めていく。

### 子どもたちの学習を支援

#### わくわく算数教室と

#### 数学・英語応援団を計画



子どもにも身近なインターネット

**問** 平成26年度の予算にわくわく算数教室や数学・英語応援団事業が計上されている。その内容と考えを聞く。

**答** 子どもたちの学習支援のため、教員OBを

平成26年度の予算にわくわく算数教室や数学・英語応援団事業が計上されている。その内容と考えを聞く。

また、数学・英語応援団は、中学3年生を

### 介護保険制度の改正

#### サービスや利用負担はどうなるのか

**問** 介護保険制度の改正により要支援1、2の人の訪問介護や通所介護サービスの内容は変わるのか。また、所得160万円以上の人の利用料が2割負担とな

**答** 要支援1、2の人の訪問介護や通所介護サービスは平成29年度末までに現制度から地域支援事業へ移行することとなっているが、既

### 次代の親育成事業

#### 未来のパパとママに

#### 子育てやふれあい体験を実施

**問** 次代の親育成事業の取り組みについて聞く。

**答** 本市では次代の親となる中高生を対象に未来のパパママ事業を実施しており、助産師や看護師等による赤ちゃん人形や妊婦体験ベス



赤ちゃんふれあ体験学習

中心として、地域の人の協力も得ながら放課後や土曜日、夏休みに学習教室を実施する。わくわく算数教室は、モデル校を3校程度設定し、小学3年生を対象に希望者を募り、基礎的事項の定着や学習意欲の向上を図るため、年間約40回の開催を計画している。

また、数学・英語応援団は、中学3年生を

子どもの健全育成や児童虐待の予防につながる取り組みでもあるため、今後も継続して実施するとともに、子育て支援センターにおいて新たにふれあい事業を実施し、小中高生や大学生が乳幼児と触れ合うなど、多くの体験ができるようにしていきたい。

### 固定資産評価審査委員会

#### 選任に同意

固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、市原幸恵氏(60歳・神戸市西区)を選任することに同意しました。市原氏は税理士として活躍され、全国女性税理士連盟西日本支部副支部長、近畿税理士会明石支部支部長を歴任、平成22年から明石納税協会相談役、25年から神戸税理士協同組合監事を務められています。

本市の固定資産評価審査委員会は3人で、任期は3年です。

### 意見書を提出

福島原発事故から3年、原子力発電は背負いきれないリスクと負の遺産を生み出すこととなった。危険性の高い原子力発電を推進するのではなく、自然エネルギーの利用促進など、世界各国でも急速に進みつつある再生可能エネルギーへの転換が大切である。よって原子力発電に依存しないエネルギー政策へ転換することを強く要望する。

意見書2件を可決し、政府・関係機関に送付しました。以下はその要旨です。

◎労働者保護ルールの見直し反対を  
現在、国において議論されている解雇の金銭解決制度や限定正社員の普及、さらに労働者派遣法の見直しなどについては、慎重な対応をすること。また、雇用や労働政策に係る議論はILOの三者構成主義に則って、労働者委員、使用者委員、公益委員で構成される労働政策審議会で行うことなどを強く要望する。

◎原子力発電に依存しないエネルギー政策への転換を

### 請願

▽採択された請願  
○原子力発電に依存しないエネルギー政策への転換を求める請願  
▽不採択となった請願  
○幼保一体化モデル事業の試行に関する請願

### 議員ふもやま話

卒業・入学の春は、親として子どもの成長を大きく感じる時であります。特に、卒業式では「よくぞ、ここまで無事に育ってくれた。」と、子ども以上に保護者の方々が目頭を押さえている姿を目にし、普段は我が子にうるさい私も、同じ親として胸が熱くなります。改めて「子に過ぎたる宝なし」と思うものです。

この4月、新たなスタートをした未来の宝である子ども達が、明るく伸び伸びと成長されることを祈りつつ・・・。

